

エジプト日本学校（EJS）における学級会の特徴（2）

～シーケンス分析に基づく経年変化～

資料作成 山田真紀（椋山女学園大学）

1. 研究目的と方法

(1) 研究目的

エジプトのエジプト日本学校（EJS）が TOKKATSU に取り組み、学級会を導入して 5年が経過した。この間、学級会の質はどのように変化したのか。本研究では、学級会の質の変化を授業研究の手法を用いて実証的に明らかにすることを目的とする。

(2) 研究方法

研究方法として、山田・清水の学級会の授業分析を用いる。2019年1月に行われた2つの学級会（1年生）と、2023年12月に行われた2つの学級会（6年生）を対象とし、「逐語分析」「分節分析」「シーケンス構造分析」の3つの分析を行った。逐語分析とは、発話を書き起こし、誰がどのくらい発言しているかの割合から、学級会の特徴を明らかにするもの、分節分析とは、分節（同じ話題に属する発言のかたまり）の内容、そこで用いられる論理、分節の終わり方を分析するもの、シーケンス構造分析とは、分節がどのような関係性を持ちながら時間の経過とともに展開するかを図式化し、分節分析と合わせて、合意形成のプロセスを分析するものである。

実施日	実施校 EJS	学年	議題
2019年1月	B1	1年生？	遠足に行く場所を決めよう
2019年1月	B2	1年生	教室をきれいに飾ろう
2023年12月	A1	6年生	先生に感謝を伝えよう
2023年12月	A2	6年生	クラスのロゴを決めよう

2. 分析と知見

(0) 評価のルーブリック（どんな話合いが望ましいと考えているか）

- ・司会を中心に子ども達が進行する
- ・活発に意見が出る
- ・少数派にも配慮した「折り合い」「歩み寄り」のプロセスがある
- ・理由を「提案理由」や「条件」や「学級目標」と比較検討している
- ・「みんなで意見を出し合ったからこそよい合意ができた」という達成感がある
- ・「提案理由」「条件」を満たす結論が見出されている
- ・一連のプロセスが時間内に終了する

(1) 逐語分析

逐語分析では、4つの話合いにおいて①総発話数、②教師と司会グループの発言の割合、③発言回数の多い児童の発言の割合を算出し、話合いが教師主導であるか司会グループ主導であるか、一部の児童の発言から進行するか全員の万遍ない参加が認められるかを分析した。

その結果、2019年に比べて2023年の学級会は①教師主導から司会グループ主導と変化し、②発言回数には児童による多寡はあるものの、多くの児童の参加する学級会へと変化していた。

表 1 逐語分析（一部）A1 小学校の冒頭

発言番号	時間	発言者	逐語訳
1	0:16	Rさん	メッセージの横にシールをはる。
2	0:29	男子1	封筒を作って、そのなかに手紙を入れる。
3	0:53	女子2	紙にメッセージを書く。
4	0:59	司会(男子)	紙にメッセージを書くんでしょ？この提案はすでに書いてあります。少し前にあなたが提案したことを言ってください。
5	1:09	男子1	封筒に手紙を入れる。
6	1:27	女子2	お菓子をあげよう。
7	1:39	Fさん	学校放送の中で、先生方について話したり、感謝の言葉を述べたりすることができる。
8	2:06	女子2	バラを贈ろう。
9	2:15	男子1	去年勉強した歌を歌おう。
10	2:29	Y君	先生たちに敬意を伝えることで、私たちは感謝の気持ちを表すことができる。
11	2:54	Z君	封筒を作り、感謝の言葉を入れる。
12	3:04	司会(男子)	もっと詳しく説明してくれる？
13	3:06	Z君	お礼のメッセージを書いて封筒に入れることもできる。
14	3:12	司会(男子)	封筒を用意し、キャンディーやお菓子を入れる。
15	3:26	Pさん	メッセージを入れた封筒に、庭からつんできた花をはりつける。

表 2-1 A1 小学校の発言者の割合

発言者	発話数	割合(%)
先生	6	4.6
司会班	7	47.3
司会女子	35	
司会男子	12	
ノート書記	5	
黒板書記	3	
Y君	15	11.5
Rさん	5	3.8
Z君	5	3.8
Fさん	6	4.6
Pさん	2	1.5
男子1	15	11.5
男子5	5	3.8
女子2	7	5.3
全員	1	0.8
不明	2	1.5
総発話数	131	100.0

表 2-2 A2 小学校の発言者の割合

発言者	発言数	割合
先生	4	1.3
司会	127	53.5
司会(男子)	15	
副司会	20	
ノート書記	4	
黒板書記	1	
日直	1	0.3
AD君	18	5.8
MA君	9	2.9
Y君	9	2.9
AS君	7	2.2
E君	4	1.3
I君	2	0.6
Rさん	5	1.6
Fさん	4	1.3
その他女子	39	12.5
その他男子	24	7.7
不明	19	6.1
総発言数	312	100

表 2-3 B1 小学校と B2 小学校の発言者の割合

クラス	発言者	発言数	割合(%)
B1	先生	172	44.7
	アシスタント先生	22	5.7
	子ども	190	49.4
	不明	1	0.3
B2	先生	106	54.6
	子ども	88	45.4

(2) 分節分析

合意形成のプロセスのなかで、出された提案を「しぼりこむ」「きめる」で用いられる論理に注目した。その結果、①「しぼりこむ」では、2019年では教師の恣意的な取舍選択により、2023年では黒板書記の理解力の限界により、提案の網羅性は担保されず、結果的に検討の組上にあがる提案はしぼりこまれていること、②「きめる」では多数決は用いられないこと、決める方法は2019年では「不明」あるいは「意見を組み合わせる」だけであったのが、2023年には「意見を組み合わせる」に加えて「少数派を説得する^①」^②「ひとりでも賛同しない子がいる場合は廃案となる」というルールが子ども達に共有されていることが分かった。

表 3-1 A1 小学校の分節分析 終わり方方：完結／結論あり／オープンエンド／打ち切り

分節番号	発話番号	他の分節との関連性	分節の概要	分節のなかで用いられる論理	分節の終わり方	分節を特徴づける発言 ※「教」は教師による発話
1	1	出し合う	提案1「メッセージの横にシールをはる」		オープンエンド	1「メッセージの横にシールをはる」
2	2	出し合う	提案2「封筒のなかに手紙を入れる」		オープンエンド	2「封筒を作って、そのなかに手紙を入れる」
3	3~4	以前の発言の繰り返し	提案3「メッセージを書く」	既に出た意見は言わない	オープンエンド	4「紙にメッセージを書くんですよ？この提案はすでに書いてあります」
4	5	2の繰り返し	提案2と同じ		オープンエンド	5「封筒に手紙を入れる」
5	6	出し合う	提案4「お菓子をあげる」		オープンエンド	6「お菓子をあげよう」
6	7	出し合う	提案5「校内放送で感謝を伝える」		オープンエンド	7「先生たちに敬意を伝えることで、私たちは感謝の気持ちを表すことができる」
7	8	出し合う	提案6「バラを贈る」		オープンエンド	8「バラを贈ろう」
8	9	出し合う	提案7「去年習った歌を歌う」		オープンエンド	9「去年勉強した歌を歌おう」
9	10	独立	心構え？確認？		オープンエンド	10「先生たちに敬意を伝えることで、私たちは感謝の気持ちを表すことができる」
10	11~13	2の繰り返し	提案2と同じ		オープンエンド	13「お礼のメッセージを書いて封筒に入れることもできる」
11	14	5の付け たし	提案8「封筒にお菓子を入れる」	前に出た提案を踏まえた新しい提案	オープンエンド	14「封筒を用意し、キャンディーやお菓子を入れる」
12	15	2の付け たし	提案9「封筒に摘んだ花を張り付ける」	前に出た提案を踏まえた新しい提案	オープンエンド	15「メッセージを入れた封筒に、庭からつんできた花をはりつける」
13	16~18	出し合う	提案10「折り紙でハートを作る」		オープンエンド	16「折り紙でハートのような形を作ることができる」
14	19	3と13の 付けたし	提案11「厚紙でハートを作ってメッセージを書く」	前に出た2つの提案を踏まえた新しい提案	オープンエンド	19「厚紙でハートを作って、そこにメッセージを書くこともできる」
15	20	14の発展	提案12「厚紙で先生の名前を立体的に切り抜く」	前に出た提案の発展	オープンエンド	20「厚紙で先生の名前を立体的に切り抜く」

16	21	定型	「比べ合い」	提案を組み合わせ、候補を絞り込む	完結	21「比べ合いにうつります。私たちは提案を組み合わせ、絞り込みます。何を組み合わせればいいと思いますか？」
17	22	組み合わせ案	提案1「封筒+厚紙のハート+花」		オープンエンド	22「封筒のなかに、ハート型の厚紙と花を入れればいんだ」
18	23	独立	黒板書記への配慮	黒板書記のスピードに合わせる	完結	23「黒板書記に他の提案を書く時間をあげてくれませんか？」
19	24～25	17の確認	提案1と同じ		オープンエンド	24「厚紙でハート型を作ると、封筒のなかに感謝の手紙や花を入れるのを組み合わせます」
20	26	組み合わせ案	提案2「感謝の手紙+花」		オープンエンド	26「感謝の手紙と花を組み合わせることができます」
21	27	独立	進行確認	新しい案を出すのではなく組み合わせる	完結	27「私たちは今、アイデアを追加するのではなく、組み合わせています」
22	28	組み合わせ案	提案3「折り紙で花」		オープンエンド	28「花のアイデアと折り紙のアイデアを組み合わせ、折り紙で花を作ることができる」
23	29	組み合わせ案？	提案4「朝の放送で感謝を伝える」		オープンエンド	29「先生に感謝を伝えるスピーチは、朝の校内放送で行うことができる」
24	30	組み合わせ案	提案5「ハートの形+シール」		オープンエンド	30「ハートの形はシールと組み合わせることができる」
25	31	組み合わせ案	提案6「校内放送+詩の朗読」		オープンエンド	31「校内放送では、スピーチだけでなく、詩を朗読することもできる」
26	34～38	決める	提案1「封筒に手紙と花」についての採決	全員一致で採択	結論あり	38「では、全員が賛成ですね」
27	39～40	決める	提案2「折り紙の花+シール」	全員一致で採択、 組み合わせ案と少し異なる	結論あり	40「全員賛成ですね」
28	41～44	決める	提案6「校内放送」		完結	42「次の提案は、校内放送で先生に感謝を伝えるというものです」
29	45	28に対する反対	反対理由：許可がいる		オープンエンド	45「反対です。なぜなら校内放送を使うとなると先生の許可が必要だから。トラブルになるかもしれない」
30	46～48	28に対する反対についての議論	反対理由：放送だけでは不十分⇒対処法：あとで直接すべての先生にプレゼントをあげる		オープンエンド	46「先生たちに感謝を伝えるのに校内放送だけでは不十分です」
31	49～50	28に対する反対	反対理由：参加できない子がいる		オープンエンド	49「参加できない子がいるのは問題です。私たちが考えるべきことは、全員が参加することです。」
32	51	29の繰り返し	反対理由：許可がいる		オープンエンド	51「先生や他のクラスの人に許可がいる」
33	52～61	31についての議論	反対理由：参加できない子がいる⇒クラス代表⇒参加できない人が嫌な思いをする⇒2学期にできるかも⇒カード作りなどで参加できている⇒残念に思う人いる	条件の「クラス全員が参加すること」が満たされない	オープンエンド	52「条件に”クラス全員が参加すること”が入っているのに、校内放送ではそれができない」 61「校内放送をかける人、プレゼントを作る人、プレゼントを渡す人に分かれて全員参加すればいい。」

			⇒役割分担で全員参加			
34	62～74	29についての議論	反対理由：許可がいる⇒許可が得られない場合は教室でスピーチ⇒新しい提案NG⇒代替案だ	「出し合う」の時間ではないので新しい提案はNG/決めたことは必ず実現	オープンエンド	66「やると決めたら、それはやらなければいけない」 68「今は新しい提案を出す段階ではない。出し合うのはもう終わった」
35	75～76	決める	提案「封筒にカードを入れる」の採決		結論あり	76「誰も賛成しませんね」
36	77	決める	決まったことの発表		完結	77「それでは、決定します。最初の決定は、厚紙でハート型を作り、封筒のなかに感謝の手紙や花を入れるです。2つ目の決定は、折り紙の花とシールを作るに決まりました」
37	78～79	柱2	どうやるか		完結	78「さて、次は決めたいものをどうやって作るかに移ります」
38	80～81	出し合う	提案1「先生の好きな色で塗る」		オープンエンド	80「先生の名前でハート型や立体を作る場合、先生の好きな色を聞いて、その色を塗る」
39	82～85	出し合う	提案2「色を塗ってから先生の名前を切り出す」	出た意見を踏まえる	オープンエンド	82「色を塗ってから、立体的に切って、先生の名前になるようにはりつける」
40	86～88	独立	黒板書記が書くのを待つ		完結	88「黒板書記が書き終わるまで、自分の考えを書いておいてください」
41	89～90	39の繰り返し	提案2の繰り返し		オープンエンド	90「厚紙に先生の好きな色で色を塗って、形に切りぬくということですね」
42	91	出し合う	提案3「封筒に感謝の手紙と花を入れる+封筒は先生の好きな色」	出た意見を踏まえる	オープンエンド	91「封筒の色を封筒を作って、そのなかに花と感謝の手紙を入れる。先生の好きな色で封筒を作れば、アドハムのアイデアも使える」
43	92	出し合う	提案4「先生にやり方を教えてもらう」		オープンエンド	92「折り紙で花やシールを作る方法はA先生がやり方を教えてくれると思います」
44	93～98	脱線	28の続き（理解できてない人がいる）		打ち切り	98「意見が一致すればいいけれど意見が一致しなかったのでもう一度、考えてから話してくれませんか？」
45	99	43の繰り返し	提案5 4 +Youtubeを見ればいい		オープンエンド	99「折り紙とシールの作り方はA先生が手伝ってくれるし、ユーチューブを見ればいい」
46	100	比べる	似ているものを合わせて候補を絞り込む	比べる＝似ているものを組み合わせる	完結	100「決定にうつりますが、その前に提案を整理しましょう。つまり、似ているものを、組み合わせます」
47	101・103	45の繰り返し	「出し合う」提案5の繰り返し		オープンエンド	101「折り紙を作るときにはアスマー先生がユーチューブを見せてくれたらやり方が分かる」
48	102・104	比べる	提案1「封筒と感謝の手紙を組み合わせる」	似ている	オープンエンド	104「このふたつは似ている」

49	105	比べる	提案2「好きな色と折り紙を先生に教えてもらうを組み合わせる」		オープン エンド	105「先生たちに好きな色を聞いて、A先生に折り紙を作るのを手伝ってもらう」
50	106～ 107	比べる	提案3「好きな色と花の折り紙を組み合わせる」		オープン エンド	107「好きな色と折り紙を組み合わせることができる。封筒を開けると花が入っている」
51	108	定型	決める		完結	108「では決めていきます。黒板に書いたことを全部いってくれましたね」
52	109～ 112	決める	提案2についての採決	全員賛成で可決	結論あり	112「決定します。先生たちに好きな色を聞き、アスマー先生に折り紙を手伝ってもらう」
53	113～ 116	定型	黒板書記が決まったことの発表		完結	115「柱1の何をするかは厚紙でハートの形を作り、そのなかにメッセージと折り紙の花を入れるです。柱2のどうするかは、先生に好きな色を聞いて、アスマー先生に手伝ってもらうかユーチューブをみる、です」
54	117～ 124	定型	話合いのふりかえり	時間の意識／大きな声で発言／司会のスムーズな進行／黒板の字が小さい／調整と説得に時間がかかった／意見は繰り返さない	完結	119「良かった点は、全員が参加し、声が大きかったこと、司会がうまく進行して、自分のすべきことを理解していたことです。良くなかった点は、調整に時間がかかったことだ」
55	125～ 127	定型	先生からの講評	司会グループへの感謝／説得の重要性／黒板の使い方／黒板書記への配慮／意見を繰り返さない／ふりかえりを通して改善することの大切さ	完結	126「私は説得という考え方が好きです。もし私がある考えに固執しているときに、友達が賛成であろうと反対であろうと、説得しようとしてくれたら、それはとても良いことです」
56	128～ 130	定型	おわりの言葉		完結	128「実施時間は次の特活の授業中、実施日は来週の水曜日。本日の話合いはここまでです。」

表 3-2 B1 小学校の分節分析

分節番号	発話番号	他の分節との関連性	分節の概要	分節のなかで用いられる論理	分節の終わり方	分節を特徴づける発言 ※「教」は教師による発話
1	1～10	独立	考古学の遠足でいきたい場所について「出し合う」の段階が始まる。「考古学」の意味の確認と「ピラミッド」の提案が出る。	学級委員を中心に進める。	オープン エンド	1教「考古学上の遺跡など、その意味についても、2人の学級委員と学級会をしながら見つけていこう。学級委員さん、進めて！」
2	11～12	独立	話合いの注意点	お互いの話を聞く／批判しない	完結	12「批判したり、あなたは間違っているとは言ってははいけません」

3	13～15	脱線	遠足に出かける時の注意事項についてのつづき	発言を否定しない	打ち切り	15教「ありがとう。オマール、君は賢いね。いいですね！進めましょう」
4	16～28	出し合う	「ピラミッド」という提案	手を挙げて発言する／学級委員を中心に進める	オープンエンド	16教「さあ、手を挙げてください。2人の学級委員と一緒に、何を訪問するか提案しましょう！」
5	29～31	出し合う	「博物館」という提案		オープンエンド	29「博物館を訪れることもできる」
6	32～34	出し合う	「パリ」という提案		オープンエンド	32教「他に歴史的な場所を知っていますか」33「パリ」
7	35～39	独立	話し合いの注意点	お互いの話を聞く／大きな声で言う	完結	35「先生、何も聞こえません」
8	40～41	出し合う	「ピラミッド」という提案	発言を否定しない	オープンエンド	41教「それは前にもできましたね。いいですよ、かしこいね、ピラミッドはとても人気あります。」
9	42～46	出し合う	「王墓」という提案		オープンエンド	42「王墓を訪れることもできます」
10	47	定型	次のステップに移ろうとする		オープンエンド	47教「たくさんの提案が出ました。次のステップは何？」
11	48～67	脱線	児童が歴史についての自分の知識を披露する	発言は否定しないが、「ピラミッド」に関連づけようとする	オープンエンド	51教「ピラミッドの内側ということですか」
12	68～80	6の続き	パリと凱旋門の提案を却下	発言は否定しないが、条件を明示して却下	打ち切り	80教「パリにはたくさんの美しいものがあるね。でも私達はエジプト国内の旅行をしたいんです」
13	81～83	出し合う	「海」という提案を遠回しに却下	校外学習という観点から再考を促す	打ち切り	83教「まず遠足の意味を知っているか？」
14	84～88	出し合う	「アレクサンドリア図書館」の提案		オープンエンド	84「アレクサンドリアの図書館がある」
15	89～91	13の続き	再度「海」の提案をスルーする形で却下		打ち切り	89「先生！でも海を発見することはできません」
16	92～98	15までの提案の総括	出た提案を整理する。ピラミッド、博物館の2つが提示される。明示的ではないが「比べ合う」の段階へ	多数決ではなく理由の説明で決めたい	オープンエンド	97「博物館かピラミッドか、どっちにいきたいか、手をあげてください」 98教「いや、だから場所を選ぶ人はその理由を説明してください。学級委員さん、進めて」
17	99～106	16を踏まえた展開	行きたいところを口々という		オープンエンド	102「私は博物館がいい」
18	107～111	16を踏まえた展開	ピラミッドを訪れたい理由	自分の選択について説明できなければいけない	完結	107教「なぜ博物館を選ぶのか。全員が自分の選択について説明できなくちゃ」
19	112～115	18を踏まえた展開	博物館を訪れたい理由		完結	115教「はい、あなたは博物館がいいのですね。（中略）今、わたしたちは「選ぶ」の段階にいます。」
20	116	14の続き	自分の意見が候補にはっていないことを指	否定せずスルー	打ち切り	116「アレクサンドリア図書館を訪れたいです」

			摘するがスルーされてしまう			
21	117～126	16を踏まえた展開	「ファラオ時代のモニュメントをみたい」という児童に対し「ピラミッド」へ誘導	児童の意見を否定せず候補を絞り込みたい	打ち切り	125「ああ、ピラミッドに入りたいんでしょ？だからみんなはピラミッドにいきたいんですね！」
22	127～128	16の修正	選択肢3つに整理。ピラミッド・博物館・アレクサンドリア図書館。明示的ではないが「決める」の段階へ	3つについて分析する	完結	127教「この選択肢について分析してみないか？ピラミッドはちがいに、美しいとか」
23	129～133	22を踏まえた展開	「アレクサンドリア図書館」に行くために必要なもの	意図特定できず（論理的なつながりが見えにくい）	打ち切り	129教「アレクサンドリア図書館に行くには何が必要なの？」
24	132～141	18の続き	ピラミッドが地元にあることに気付かせ、ピラミッドに誘導する	（予め近場の考古学的な場所という条件を示すべき）	結論あり	138教「ギザ県は何が特徴？」 140教師「3つのピラミッドがあるね。（中略）ここに行きたい人が多いようですね。」
25	142～151	16から24を踏まえた展開	ピラミッドに決定	決定のプロセスは不明	結論あり	151「選ぶという最初のテーマは終わった。私達は選んだ。ピラミッドと博物館、アレクサンドリア図書館という選択肢がありましたね」
26	152	21の続き	「モニュメントを見る」が候補に入っていないこと指摘するがスルー	否定せずスルー	打ち切り	152「モニュメントがあります」
27	153～158	独立	柱2「どのように行くか」		完結	156「これから話す2つ目のテーマは、私たちが場所を選び、どんな段取りで、どんな役割で、行くために何をすればいいのか、どうぞ話してください」
28	159～162	出し合う	「食べ物を持っていく」		オープンエンド	160「それは必要だ。だってお腹がすいたり喉が渇いたりするから」
29	163～168	27を踏まえた展開	「交通手段」の指摘だが、海に行く想定なので却下	否定	打ち切り	166教師「なんで船が必要なんですか？」 168教「私達は海に行くんじゃない、ピラミッドに行くんですよ」
30	169～171	脱線？	教師による意図の分かりにくい発問		オープンエンド	169教「ピラミッドのなかには何がある？」 170「砂」
31	172	脱線	結論を蒸し返す発言	スルー	打ち切り	172「先生、私は博物館にいきたいです」
32	173～179	1を踏まえた展開	遠足の意味について確認＝学びと発見	手を上げて発言	オープンエンド	182「ピラミッドを実際に見て、どんなところなのか、いろいろなことを発見するんだ」
33	183～192	26の続き	「モニュメント」へのこだわり	ピラミッドもモニュメントのひとつであると説得	打ち切り	188教「モニュメントというのは、ずっと何年も続いている場所という意味です」
34	198～204	脱線	今までピラミッドを訪れたり学んだことがあるかの確認	脱線的な児童の発言に教師も乗る	打ち切り	204教「わお！ピラミッドに行ったことあるの？わたしもみんなくらいに小さいときにいきました」

35	205～207	27を踏まえた展開	遠足のためには許可が必要という確認		オープン エンド	207教「許可を得なければいけない。これを認可と呼ぶんだ。それは、私達は偉い人についていか尋ねることを意味します」
36	208～218	独立	学級会のルールの確認	発言するときには挙手する／お互いの意見を聞き合う	完結	216教「学級会で一番大切だといったのは、お互いの意見を聞き合うということでしたね。ちゃんとお互いの意見を聞いているようにみえますか？」
37	219～228	28を踏まえた発言	ピラミッドの中では飲食禁止の指摘		オープン エンド	226「ピラミッドの内部には食料を持ち込めない可能性がある」
38	229～237	脱線？	教師による意図の分かりにくい発問		オープン エンド	229教「ピラミッドに行くために、訪れるために、いい？天才？像の名前って何だっけ？」
39	238～246	脱線	ミイラの作り方		オープン エンド	238「誰かが死んだら、彼に服を着せるんだ。ミイラを作るみたいに」
40	247～248	出し合う	遠足でのゴミの処理について		オープン エンド	247「ジュースを飲んだら、ジュースの缶を捨てなければいけない」
41	249～252	6の続き	パリの話⇒はっきりと却下		打ち切り	250教「例えば、パリから・・・ちょっと、それは聞かないよ」
42	253～258	40の続き	遠足でのゴミの処理について	公共のマナーに誘導したい	オープン エンド	257教「私たちはどこにでもいけますか？ピラミッドに行って、ティッシュを捨てることはできますか？」
43	259～280	出し合う	遠足の準備として地図が必要	役割分担に誘導したい	オープン エンド	266「地図を持っていく」
44	281～289	出し合う	遠足の準備として交通手段の確保が必要		オープン エンド	282「素晴らしい。アハはそこに行くためには交通機関が必要だといっています。ピラミッドまで歩いていけますか？」
45	290～295	出し合う	遠足の準備として持ち物を決める⇒懐中電灯		オープン エンド	290「持ち物はどうすればいいんだろう。懐中電灯はもっていかなきゃね」
46	296～303	出し合う	行く途中で何があってもいいように準備しておく		オープン エンド	298「行く途中でもしもなにかがあったときのことをかんがえて、私達は」
47	304～228	出し合う	ピラミッドに行くのにふさわしい服装	着席・手を挙げて発言する	オープン エンド	338「なぜピラミッドを訪れるのか、それは砂があるからです。だから、私たちはズボンを着用する必要があります」
48	339～341	27から47のまとめ	出た意見をまとめる。懐中電灯、ふさわしい服装、地図、食料。		完結	341「懐中電灯、それにふさわしい服装、地図、それに食料ですね」
49	342～350	出し合う	班行動をする（役割分担？）		打ち切り	350「全員が5、6人と一緒に行動し、6人目が地図を持つ」
50	351～362	49の続き	児童をグループにして監督の先生をつける		打ち切り	351「私たちを導いてくれる先生の指導が必要なんです」
51	363～276	27以降のまとめ	柱2で決まったことの確認		結論あり	363「議論はほとんど終わりました。私達は役割分担と、一緒にいてくれる先生、指導者を選びました」
52	377～385	定型	終わりの言葉			380「学級会の話合いのメンバーに感謝します。私はみんなにお礼をいいます」

(3) シークエンス構造分析

2019年も2023年ともに「出し合う」「比べ合う」「決める」(×2つの柱)「ふりかえり」「先生のお話」の緑本の構造で話し合いは進むこと、2019年では、同じ分節に属するシークエンスがとびとびに現れ(=議論が行きつ戻りつする)、また単発で宙に浮いたままのシークエンスが散見されたのに対し、2023年では、まとまりのある重層的なシークエンスが積み重なる構造となり、ひとつの提案について、吟味して取捨選択する様子が現れるようになった。

図1 A1 小学校のシークエンス構造図

A1 先生に感謝の気持ちを伝えよう	
柱1 何をするか	
出し合う	<p>【1】提案1 メッセージ+シール</p> <p>【2】提案2 封筒の中に手紙 - 【4】 - 【10】</p> <p>【3】提案3 メッセージ</p> <p>【5】提案4 お菓子</p> <p>【6】提案5 放送</p> <p>【7】提案6 バラ</p> <p>【8】提案7 歌(詩の朗読?)</p> <p>【9】心構え</p> <p>【11】提案8 封筒にお菓子</p> <p>【12】提案9 封筒に花</p> <p>【13】提案10 折り紙でハート</p> <p>【14】提案11 厚紙でハート+メッセージ</p> <p>【15】提案12 厚紙で先生の名前</p>
比べ合う	<p>【16】比べ合う</p> <p>【17】提案1 封筒+厚紙でハート - 【19】</p> <p>【18】黒板書記への配慮</p> <p>【20】提案2 感謝の手紙+花</p> <p>【21】出し合うのではなく組み合わせる</p> <p>【22】提案3 折り紙で花</p> <p>【23】提案4 朝の放送 - 【44】</p> <p>【24】提案5 ハートのシール</p> <p>【25】提案6 校内放送+詩の朗読</p>
決める	<p>【26】<提案1 封筒に手紙と花(決定)</p> <p>【27】<提案2 折り紙+シール(決定)</p> <p>【28】<提案6 校内放送 【29】許可 - 【32】 - 【34】</p> <p>【30】不十分</p> <p>【31】全員参加でない - 【33】</p> <p>【35】だ提案2 封筒にカード(否決)</p> <p>【36】決定事項の確認「厚紙でハート+封筒に手紙と花」「折り紙の花とシール」</p>
柱2 どうやるか	
	【37】どうやるか
出し合う	<p>【38】提案1 先生の好きな色</p> <p>【39】提案2 色を塗ってから切り出す - 【41】</p> <p>【40】黒板</p> <p>【42】提案3 封筒に手紙+好きな色</p> <p>【43】提案4 先生に教えてもらう - 【47】</p> <p>【45】提案5 4+Youtube</p>
比べ合う	<p>【46】組み合わせる</p> <p>【48】提案1</p> <p>【49】提案2</p> <p>【50】提案3</p>
決める	【51】決めていく

	【52】 提案2の採決（可決）
おわり	【53】 黒板書記による決定事項 【54】 ふりかえり 【55】 先生の講評 【56】 挨拶

図2 B1 小学校のシーケンス構造図

B 小学校 考古学の遠足を企画しよう	
柱1 どこに行くか	
出し合う	【1】 考古学の意味 - 【11】 × - 【32】 × 提案1 ピラミッド - 【4】 - 【8】 【2】 話合いのルール 【3】 遠足の注意点 【5】 提案2 博物館 - 【31】 × 【6】 提案3 パリ - 【12】 × - 【41】 × 【7】 話合いのルール 【9】 提案4 王墓 【10】 くらべあい × 【13】 提案5 海 - 【15】 ×スルー - 【29】 × 【14】 提案6 アレクサンドリア図書館 - 【20】 ×スルー
くらべあう	【16】 候補：ピラミッドと博物館 - 【17】 【18】 ピラミッド理由 【19】 博物館理由 【21】 提案7 ファラオ時代のモニュメント ⇒ピラミッドに誘導 【26】 × 【33】 ×
決める	【22】 候補：ピラミッドと博物館とアレクサンドリア図書館 【23】 図書館に行くために必要なもの 【24】 ピラミッドのある場所 - 【25】 ピラミッドに決定
柱2 どのように行くか	
出し合う	【27】 段取り・役割分担 【28】 提案1 食べ物 - 【37】 飲食禁止 【30】 ?ピラミッドの中にあるもの 【34】 ?ピラミッドに行ったことがあるか 【35】 提案2 許可を得る 【36】 話合いのルール 【38】 ?像の名前 【39】 ?ミイラの作り方 【40】 提案3 ゴミの持ち帰り - 【42】 【43】 提案4 地図が必要 【44】 提案5 交通手段 【45】 提案6 懐中電灯 【46】 提案7 何があってもいいように（心構え?） 【47】 提案8 ふさわしい服装 【48】 提案の整理 懐中電灯・ふさわしい服装・地図・食料 【49】 提案9 班行動 - 【50】 監督する先生
決める	【51】 役割分担と監督する先生
おわり	【52】 感謝

≪構造図から分かること≫

☆構造はしっかりしている（柱2つ+出し合う・くらべあう・決める）

☆出た意見を踏まえた意見構築となっている（A1）

★提案をしばりこむ方法（黒板書記に網羅性がない）赤字は言及なくスルーされたもの

★ほとんどがオープンエンドのまま回収されない

★B1 は後半の数字が前半の数字の後ろに連なる⇒納得感がない

3. 考察

観点	A1	B1
司会を中心に子ども達が進行する	○	✕
活発に意見が出る	○	○
少数派にも配慮した「折り合い」「歩み寄り」のプロセスがある	△	✕
理由を「提案理由」や「条件」や「学級目標」と比較検討している	△～○	✕～△
「みんなで意見を出し合ったからこそよい合意ができた」という達成感がある	△～○	△
「提案理由」「条件」を満たす結論が見出されている	○	?
一連のプロセスが時間内に終了する	○	○

5年間で学級会の構造は驚くほど変化したが、特に提案のしぼりこみと合意形成のプロセスに課題も見えてきた。少数派にも配慮した「折り合い」「歩み寄り」のプロセスがあり、「みんなで意見を出し合ったからこそよい合意ができた」という達成感がある話し合いを実現させるための条件について考えていきたい。

謝辞：本研究は、令和5年度 文部科学省 EDU-Port ニッポン調査研究の助成を受けた。映像の提供、文字起こし、英語訳の作成、日本語訳の作成などにご協力いただいた（株）パデコや、JICAの職員のみなさまを始め、共同研究者のみなさまにも心より御礼申し上げます。

追記：本報告は中間報告である。確定値は最終報告書にて。引用等は最終報告書および論文化されたものからお願いします。

参考文献：

山田真紀・清水克博「小学校における学級活動「話し合い活動」の合意形成プロセスに関する実証的研究—逐語記録を用いた授業分析の手法を援用して—」日本特別活動学会紀要、第27巻、2019年、p. 39-48。

山田真紀・清水克博「小学校における学級活動“話し合い活動”の合意形成プロセスに関する実証的研究(2)—逐語記録とシーケンス構造図を用いた研究手法の開発—」相山女学園大学教育学部紀要12号、2019年、pp.127-153。

小松和佳「小学校低学年における「話し合い活動」の実践研究:合意形成のプロセスに着目して」相山女学園大学教育学部紀要、第15号、2022年、p. 81-89。

以上